

6. 4. 口頭発表(平成 20 年度)

平成 20 年度に気象研究所の職員が筆頭者として行った講演、口頭発表などについて、気象研究所年報(平成 20 年度)に記載漏れや誤りがあったので、本節に再掲載した。

- 青木輝夫
- 札幌における 4 冬期間の積雪中 OC, EC, ダスト濃度変動, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - 紫外一可視域における氷の複素屈折率データ改訂が積雪の光学特性の計算値に与える影響, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
 - 積雪の光学特性とリモートセンシングに関する研究 -2008 年度日本気象学会賞受賞記念講演-, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - 氷の複素屈折率データ改訂が積雪アルベドの理論計算値に与える影響, 雪氷研究大会 (2008・東京)
 - SGLI に期待するもの・やるべきこと-雪氷研究分野, GCOM ワークショップ 2009
- 青梨和正
- マイクロ波放射散乱シグナルからの降水強度リトリーバル: 現状と改良の方向性について, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - 非静力雲解像モデルの物理量のアンサンブル予報誤差分布と共分散, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - 非静力雲解像モデル物理量とマイクロ波輝度温度のアンサンブル予報誤差共分散: マイクロ波輝度温度の非静力雲解像モデルへ向けて, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
 - 衛星搭載マイクロ波放射計輝度温度の前方計算法の改良(その 1), 日本気象学会 2008 年度秋季大会
- 青柳暁典
- 都市パラメータが気象に与える影響度調査—メソ気象モデル JMANHM による感度実験—, 日本ヒートアイランド学会第 3 回全国大会
 - NHM 用単層都市キャノピースキームへのビル面潜熱輸送過程の導入, 第 10 回非静力学モデルに関するワークショップ
 - A sensitivity study on anthropogenic heat release and building /street aspect ratio using a mesoscale model in Tokyo Metropolitan area, Japan, 8th symposium on urban environment
- 青山道夫
- An increase of silicic acid and nitrate concentrations along the pathway of Lower Circumpolar Deep Water in the Pacific Ocean: results of snapshot comparisons, Effects of Climate Change on the World's oceans International Symposium
 - Chemical tracers in Indian Ocean: Results from WHP repeat hydrography in the Indian, South Atlantic, and South Pacific Oceans in 2003/04, MISMO Workshop (Mirai Indian Ocean Cruise for the Study of the MJO-convection Onset)
 - Global ^{137}Cs deposition and long term behavior of ^{137}Cs in the marine environment, 14th Hiroshima International Symposium
 - International Nutrients Scale System, INSS, in seawater, Proposal, 2009 INSS International Workshop
 - Preliminary report of 2008 RMNS inter-laboratory comparison study, 2009 INSS International Workshop
- 足立アホロ
- ウィンドプロファイラーの低高度の観測特性, 日本気象学会 2008 年度春季大会
- 足立恭将
- CMIP3 マルチモデルアンサンブル平均を利用した将来の海面水温・海水分布の推定, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - CMIP3 結合モデルの 20 世紀後半の北極点付近の海水厚, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
- 安藤 忍
- 干渉 SAR で見た東北地方の活火山周辺における地殻変動, 日本火山学会 2008 年度秋季大会

- ・ Crustal Deformation of the Iwate-Miyagi Nairiku Earthquake in 2008 Using ALOS/PALSAR Interferometry, 7th General Assembly of Asian Seismological Commission and Seismological Society of Japan, 2008 Fall meeting
- ・ Crustal Deformation of Azumayama volcano detected by using ALOS/PALSAR Interferometry, SAR Workshop 2008
- 五十嵐康人
 - ・ 干渉 SAR でみた全国の活火山, 日本地球惑星科学連合 2008 年大会
 - ・ 2007 年春季に観測された個別降水中の人工放射能: 風送ダストによる輸送, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ Sulfur oxide observed at Mt. Fuji during summer seasons, The 25th Symposium of Aerosol Science & Technology in conjunction with International Aerosol Symposium 2008
 - ・ 頭を雲の上にも、下にも出して-富士山で眺めた大気エアロゾル-, わかる科学・技術市民講座(第1回)「海, 山, 極地から見た地球環境の変化」
 - ・ Anthropogenic Radioactivity (Aerosol Form) in the Atmosphere - A Review of the Literatures during the 2000s-, 第10回環境放射能研究会
- 石井雅男
 - ・ Trend of Acidification in the western North Pacific, 2nd Symposium on the Ocean in High-CO₂ world
 - ・ 西部北太平洋亜熱帯域表層における海洋炭酸系の季節変動・年々変動・長期変動, 東京大学海洋研究所共用利用シンポジウム「亜熱帯海洋学の最前線」
 - ・ Trend of DIC increase in the western North Pacific subtropical gyre during 1994 - 2008, Decadal Variations of the Ocean's Interior Carbon Cycle: Synthesis and Vulnerabilities
 - ・ Decadal and longer-term changes of the CO₂ in the ocean, The second GEOSS Asia-Pacific symposium. The role of Earth observations in tackling climate changes
 - ・ Trend of oceanic CO₂ increase in the Pacific shallow meridional overturning circulation domain being investigated by high-frequency observations, International Workshop on the North Pacific Ocean Observation Strategy for Carbon Cycle and Climate Change
- 石崎 廣
 - ・ 高解像度モデル結果における粒子追跡による相対分散, 2008 年度日本海洋学会秋季大会
- 石原幸司
 - ・ 都道府県別に適用した地域頻度解析によるアメダス地点の確率降水量, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ 地球温暖化に伴う確率降水量変化の都道府県別評価に向けて, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
 - ・ 地球温暖化の最新情報, 気象キャスターネットワーク 2009 年定期総会
 - ・ 地球温暖化について考えよう, 日本科学未来館 友の会 DAY イベント
- 石元裕史
 - ・ 地上設置型多波長マイクロ波放射計を用いた温度・水蒸気の 1D-Var リトリバブル, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ AIRS 輝度温度データを用いた上部対流圏の湿度測定, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
- 猪上華子
 - ・ 庄内平野に突風をもたらした気象じょう乱—2007 年 12 月 2 日に X バンドドップラーレーダーで観測された misocyclone の特徴—, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ 2007 年 12 月 2 日にドップラーレーダーで観測された misocyclone の構造, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
- 岩切一宏
 - ・ Analysis of seismic ACROSS signal at Morimachi using seismic array installed near Mt. Fuji Shizuoka Airport, 7th General Assembly of Asian Seismological Commission and Seismological Society of Japan, 2008 Fall meeting
 - ・ 富士山静岡空港における小規模アレイ観測による森町弾性波アクロス信号の解析結果, 研究集会「アスペリティのマッピングとモニタリング (EARS)」シンポジウム 2008 年度集会
- 上野 充
 - ・ 数値モデルで得られた台風中心軸の傾斜と気温変化(続報), 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ 台風検証データとしての気象庁メソ解析利用の試み, 日本気象学会 2008 年度秋季大会

- 碓氷典久
- ・ 基礎 5 (問題 5.1-7) および関連発表—黒潮の消長に関する解析—, 2008 海洋データ同化セミナー
 - ・ 2004 年黒潮大蛇行の消滅過程, 2008 年度日本海洋学会秋季大会
 - ・ Reproducibility of Currents and water masses in the North Pacific subarctic region in MOVE/MRI. COM, GODAE Final Symposium
- 内山明博
- ・ Integraing Nephelometer の改造, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ 福岡での 2008 年春季エアロゾル光学特性集中観測, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
- 永戸久喜
- ・ 衛星搭載マイクロ波放射計による降水リモートセンシングへの適用に向けた雲解像モデルの降水粒子予測特性の検証と改善の検討, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ Verification of hydrometeor properties simulated by a cloud resolving model using passive microwave satellite and ground-based radar observations for a rainfall system associated with the Baiu front, 4th Workshop of the International Precipitation WorkingGroup(IPWG)
 - ・ Verification of hydrometeor properties simulated by a cloud resolving model using passive microwave satellite and ground-based radar observations for rainfall systems observed around the Okinawa islands, 4th International Workshop on Precipitation Retrieval Algorithms Using Satellite Microwave Radiometer, Radar and IR Data
 - ・ Verification of hydrometeor properties simulated by a cloud resolving model using passive microwave radiometer and radar observations, International Workshop on radar and modeling studies of snowfall: Precise observation and modeling of solid precipitation
- 遠藤洋和
- ・ ヤマセに関連した大規模循環場の将来変化について, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ 全球大気モデルによる気候値再現性の水平分解能依存性, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
- 大泉三津夫
- ・ NHM 地域気候モデルの降積雪特性, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ マルチモデルアンサンブル実験での地域気候モデルの降積雪特性, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
- 尾瀬智昭
- ・ エルニーニョに伴う西太平洋降水変動の CMIP3 モデルによる再現性, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ 夏季北西太平洋降水特性の気候モデルによる再現性 (2) , 日本気象学会 2008 年度秋季大会
- 小野木茂
- ・ 1.3GHz ウィンドプロファイラーによる雨滴粒径の抽出(序報) , 日本気象学会 2008 年度秋季大会
- 折笠成宏
- ・ 航空機による山岳性降雪雲の直接観測 (その 2) —雲の相からみた統計的特徴—, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ ドライアイスシーディングに伴う山岳性降雪雲の微物理構造の変化, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
- 勝間田明男
- ・ スロースリップ検知のための長基線レーザー伸縮計の開発, 日本地球惑星科学連合 2008 年大会
 - ・ 定時データ解析による日本列島下のモホ不連続面深さの推定(3), 日本地球惑星科学連合 2008 年大会
 - ・ インドネシアにおける津波警報のための早期震源パラメーター決定, 日本地球惑星科学連合 2008 年大会
 - ・ 弾性波アクロス送信波のフィリピン海プレート境界反射点, 日本地球惑星科学連合 2008 年大会
- 加藤輝之
- ・ 2006 年 11 月 7 日に発生した北海道佐呂間竜巻の雲解像モデルによる再現, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ 暖候期での人工降雨のための有効雲の出現頻度分布調査—水平分解能 1km 雲解像モデルの結果から—, 日本気象学会 2008 年度春季大会

- ・ 竜巻をもたらす積乱雲の発生環境場に関する統計的研究, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ Heavy rainfall over the Baiu frontal zone around Japan - Relation with cloud-top heights of cumulonimbi -, WMO 4th International Workshop on Monsoons (IWM-IV)
 - ・ 2008 年梅雨明け後の豪雨・熱雷の発生要因, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
 - ・ 竜巻をもたらす積乱雲の発生環境場の気候学的変動, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
 - ・ 暖候期の九州・四国地方における 5km-NHM と 1km-CRM との非断熱加熱鉛直分布の比較, 第 10 回非静力学モデルに関するワークショップ
 - ・ 豪雨・雷・竜巻等の激しい気象の発生メカニズム, シンポジウム「豪雨・雷・竜巻等の激しい気象の実態に迫る」
- 蒲地政文
- ・ 国内外の動向, 2008 海洋データ同化セミナー
- 釜堀弘隆
- ・ JRA-25 に表現される地上気温と衛星導出植生分布との比較, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ 中国華南地方の降水量変動と熱帯太平洋海面水温との関係, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
 - ・ 再解析に表現される台風のコンポジット解析(その 4) —台風場の降水量の年々変動と、その GPCP-1DD との比較—, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
- 上口賢治
- ・ 日降水諸統計量の水平解像度依存性について, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ 雨量計に基づいた高分解能グリッド日降水データの作成—APHRO データセット(0.25 および 0.5 度水平分解能)—, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ 日本における高解像度日降水量グリッドデータ(APHRO-JP)の作成について, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
- 川畑拓矢
- ・ NHM-4DVAR による首都圏豪雨データ同化実験, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ NHM-4DVAR への increment 法の導入, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
- 北島尚子
- ・ 週間アンサンブル予報における台風進路に対する環境場の影響, 日本気象学会 2008 年度春季大会
- 北村祐二
- ・ 日本本土に上陸した台風の地上風分布と三次元構造, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
 - ・ Germano の恒等式を用いたサブグリッドスケールのフラックスの評価, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
- 鬼頭昭雄
- ・ GCM 研究の最前線, 気候変動将来推計情報の水文分野での利用促進シンポジウム
 - ・ WCRP CMIP3 マルチモデルデータによる地上気温の年々変動と日々変動の将来変化, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ Impact of climate change on precipitation and river flow, Symposium on Science and Practice of Basin-scale Water Policy for Population Upsurging Asia
 - ・ Effects of BIOME interaction on 6ka and 21ka climate in the MRI CGCM, PMIP2 Workshop
 - ・ Climate projections over Amazon with the 20km and 60km mesh AGCM, Assessment of the Prospects and Identification of Implications of Amazon Dieback Induced by Climate Change, 2nd Meeting of Science Team and Blue Ribbon Panel
 - ・ 地球温暖化の科学的評価, 気象大学校 特修課程「気象業務論」
 - ・ PMIP 6ka/21ka 実験における ENSO/モンスーン, マルチプロキシ法による寒冷圏の古気候・古環境研究の発展の方向性
 - ・ Impact of climate change on Asian monsoon characteristics, WMO 4th International Workshop on Monsoons (IWM-IV)
 - ・ High resolution modeling of monsoons in the future, The 2nd Pan-WCRP Monsoon Workshop(PWM-2)
 - ・ Mid-Holocene climate in the MRI CGCM2 with BIOME interaction, PAGES Global Monsoon Symposium
 - ・ Projection of the change in future weather extremes using super-high-resolution

- atmospheric models, The 12th U.S.-Japan Workshop on Global Change
- 地球温暖化予測の最前線, 平成20年度国土交通先端技術フォーラム
- Resolution dependence of climate change projections of Indian summer monsoon, Asia Oceania Geosciences Society 2008 Conference
- The use of the Earth Simulator in climate projections over Amazon, The risk of climate-induced Amazonian forest dieback in the 21st century, Side Event of SBSTA28
- The use of the Earth Simulator in climate projections over Amazon, Implementation of adaptation to climate change activities in Latin America, Side Event of SBSTA28
- Projection of the changes in future weather extremes using super-high-resolution atmospheric models, International Workshop on Anthropogenic Impacts on Asian Monsoon
- Projection of the changes in future weather extremes, Forum on Climate Change and Science and Technology Innovation
- The Earth Simulator, capabilities and limitations and Projection of the change in future weather extreme using super-high-resolution atmospheric models, Assessment of the Prospects and Identification of Implications of Amazon Dieback Induced by Climate Change
- Water cycle projection in Asia by super-high-resolution climate model, The 2nd GEOSS Asia-Pacific symposium
- How is the climate of Japan changing and projected to change, UK-Japan Workshop on Climate Modelling and Business Risk
- Climate modeling for adaptation to climate change in Asia, The 3rd GEOSS Asia-Pacific Symposium: Data sharing for a Transverse GEOSS
- Climate modeling activity in Japan, The 3rd GEOSS Asia-Pacific Symposium: Data sharing for a Transverse GEOSS
- Use of a 20-km mesh GCM in climate change projections in Latin America, The 9th International Conference on Southern Hemisphere Meteorology and Oceanography
- Climate change projection in Latin America by global 20-km and 60-km mesh atmospheric model, International Seminar on Adaptation to Climate Change
- Projection of change in extremes by very high resolution atmospheric models, IPCC Working Group II Scoping Meeting: Possible Special Report on “Extreme Events and Disasters: Managing the Risks”
- Projection of the change in future weather extremes using the MRI/JMA super-high-resolution models, Joint IPCC-WCRP-IGBP Workshop: New Science Directions and Activities Relevant to the IPCC AR5
- MRI Earth System Model, Joint IPCC-WCRP-IGBP Workshop: New Science Directions and Activities Relevant to the IPCC AR5
- Climate change projection for adaptation, Seminar 2: Climate Change Master Plan for Energy Pricing Fluctuation and Food Security
- Climate change projection for adaptation, JMA Seminar
- 楠 研一 • 庄内平野に突風をもたらした気象じょう乱一事例解析 080108 (序報) 一, 日本気象学会 2008年度春季大会
- 空港気象ドップラーレーダーを用いた非降水エコー出現特性の調査 (序報), 日本気象学会 2008年度春季大会
- 庄内平野で観測された冬季突風と気象じょう乱について—概要—, 日本気象学会 2008年度秋季大会
- 2008年8月14日に庄内平野付近で観測されたマイソサイクロン, 日本気象学会 2008年度秋季大会
- A climatology of clear-air echoes from the operational C-band Doppler radar in Japan,

Fifth European Conference on Radar in Meteorology and Hydrology

- An overview of the Shonai area railroad weather project and early outcome, 5th European Conference on Radar in Meteorology and Hydrology
- The MRI portable X-band Doppler radar for severe weather observations -Status and Applications-, 第20回風工学シンポジウム
- 温暖化過程の台風における激しい重力波の発生メカニズム, 台風に伴う強風、豪雨などの気象災害の被害軽減に関する研究集会
- 庄内平野で観測された冬季突風と気象じょう乱について, レーダー研究会
- 庄内平野における突風観測, レーダー研究会
- 至近距離落雷による雷被害事例について, 日本大気電気学会第80回研究発表会
- 楠 昌司
- 20km 格子全球大気モデルによる地球温暖化時の梅雨変化予測, 日本気象学会2008年度春季大会
- CMIP3 大気海洋結合モデルによる梅雨期の降水強度の再現性, 日本気象学会2008年度春季大会
- 60km 格子全球大気モデルによる将来気候実験で再現された熱帯低気圧発生数のSSTと初期値依存性について, 日本気象学会2008年度秋季大会
- 60km 格子全球大気モデルのアンサンブル実験による梅雨の変化, 日本気象学会2008年度秋季大会
- STOP! 地球温暖化 今私たちにできること～世界・日本の気候はどうなるの～, 地球温暖化防止講演会
- 地球温暖化を知ろう!, 化学と音楽の饗宴2008 レクチャー&コンサート
- Change in the East Asia summer monsoon projected by an atmospheric global model with 20-km grid size, The Asia Oceania Geosciences Society 5th Annual Meeting
- Change in the East Asia summer monsoon projected by an atmospheric global model with 20-km grid size, The 1st International Conference: From Deserts to Monsoons
- Precipitation intensity of East Asian summer monsoon simulated by CMIP3 models, The European Geosciences Union General Assembly 2008
- Global Warming Projection by an Atmospheric Global Model with 20-km grid, Seminario Iberoamericano de Escenarios de Cambio Climatico
- 超高解像度大気モデルによる将来の極端現象の変化予測に関する研究, TX テクノロジー・ショーケース in つくば2009
- Future Change in Precipitation Intensity of Baiu Rain Band Simulated by CMIP3 models, The 11th Pacific Science Inter-Congress
- Climate Change Projections by using Earth Simulator, South East Asian Regional Workshop on Development of Climate Change Scenario
- Global Climate Change through Super Computer Model, International Seminar on Impact of Climate Change on Irrigation Systems
- 朽木勝幸
- 南極域の衛星リモートセンシングに対するサスツルギの効果, 日本気象学会2008年度春季大会
- 全天分光日射計による積雪物理量の推定, 日本気象学会2008年度春季大会
- MODISデータを用いた南極点における氷床表面ラフネスの推定, 日本気象学会2008年度秋季大会
- 全天分光日射計から推定された札幌・芽室における積雪物理量, 雪氷研究大会(2008・東京)
- 工藤 玲
- 地上放射観測から推定したエアロゾル光学特性と地上放射強制力, 日本気象学会2008年度春季大会
- 國井 勝
- WWRP 北京オリンピック2008 予報実証/研究開発プロジェクト(メソ解析の適用と降水同化), 日本気象学会2008年度春季大会
- 気象庁非静力学モデルに対する特異ベクトルの計算(第5報), 日本気象学会2008年度

秋季大会

- 栗田 進
 - WWRP 北京オリンピック 2008 年予報実証/研究開発プロジェクト (2008 年本実験、メソ解析の適用と降水同化) , 日本気象学会 2008 年度秋季大会
- 栗原和夫
 - 都市ビル群の風下領域における境界層の 2 層構造, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - 雲解像領域大気モデルの高解像度化と温暖化による極端現象の変化予測, 日本気象学会 2008 年度春季大会
- 黒田友二
 - 太陽活動の北大西洋振動変調に及ぼすオゾンの役割, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - 成層圏の変動が季節予報に及ぼす影響について, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
- 小林昭夫
 - Long-term slow slip events in the Bungo Channel deduced from tidegauge data, The 7th General Assembly of Asian Seismological Commission and Seismological Society of Japan, 2008 Fall meeting
 - 潮位記録を用いた地殻上下変動推定のための津村による海域区分の検証, 日本地球惑星科学連合 2008 年大会
 - 三ヶ日観測点における地下水の汲み上げによる体積歪変化, 日本地球惑星科学連合 2008 年大会
- 小林隆久
 - 衛星で観測した雲光学的厚さと雲粒サイズに及ぼす降水の影響, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
 - Effects of precipitation on cloud optical thickness derived from combined passive and active space-borne sensors, International Radiation Symposium 2008
 - Cloud properties in rain formation process observed by space - Borne active and passive sensors, 5th European Conference on Radar in Meteorology and Hydrology
 - Relation between cloud optical thickness and precipitation derived from space-borne measurements, SPIE Asia-Pacific Remote Sensing
- 財前祐二
 - 宝達山 (能登半島) でのエアロゾル混合状態, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
- 齋藤篤思
 - 氷晶核測定装置を用いた氷晶核数濃度の測定 (その 3) , 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - 小規模シーディング実験において散布される吸湿性粒子, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
- 齊藤和雄
 - WWRP 北京オリンピック 2008 予報実証/研究開発プロジェクト (その 3 2008 年本実験に向けて) , 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - 気象庁非静力学モデルによるダウンスケールアンサンブルと BGM 法の開発 (その 3 境界値摂動の導入) , 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - WWRP 北京オリンピック 2008 年予報実証/研究開発プロジェクト (2008 年本実験、概要) , 日本気象学会 2008 年度秋季大会
 - 気象庁メソモデルによる BGM 法の開発と NHM-LETKF への境界値摂動の影響, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
 - ミャンマーサイクロン Nargis のアンサンブル予報実験と高潮シミュレーション, 第 10 回非静力学モデルに関するワークショップ
 - NHM による BGM 法の開発と NHM-LETKF への境界値摂動の影響, 第 10 回非静力学モデルに関するワークショップ
 - The WWRP Beijing Olympic 2008 RDP Tier-1 meso-EPS experiment at MRI/JMA, AOGS2008
 - Typhoon formation and development experiment with a high resolution global model and a mesoscale model, AOGS2008
 - Meso-4DVAR application in B08RDP, 3rd meeting WWRP Working Group on Mesoscale Weather Forecasting Reserach
 - Mesoscale Ensemble Prediction & WWRP B08RDP Project, NWP/Nowcast Training Workshop on Quantitative Precipitation Forecast
 - Numerical simulations of Cyclone, Heavy Rain, and Intercomparison of NHM and WRF - International Research Project for Prevention and Mitigation of Meteorological

- Disasters in Southeast Asia -, NWP/Nowcast Training Workshop on Quantitative Precipitation Forecast
- Future Strategies on NWP Development in HKO, NWP/Nowcast Training Workshop on Quantitative Precipitation Forecast
 - Development of a mesoscale ensemble prediction system for the WWRP Beijing 2008 Research and Development Project, The 2nd THORPEX-ASIA Science Workshop
 - Sensitivity Analysis using the Mesoscale Singular Vectors, The 2nd THORPEX-ASIA Science Workshop
 - Ensemble Forecast Experiment of Cyclone Nargis, The 2nd International Workshop on Prevention and Mitigation of Meteorological Disasters in Southeast Asia
 - Introduction to Non-Hydrostatic Model of MRI/JMA, The 2nd International Workshop on Prevention and Mitigation of Meteorological Disasters in Southeast Asia
- 齊藤 秀
坂井孝行
- 西部北太平洋亜熱帯域の pH 減少傾向, 2008 年度日本海洋学会秋季大会
 - 回転楕円体圧力源による変位を表す経験式(第 2 報) - FE 解析結果に最小二乗法を適用しての係数決定 -, 日本火山学会 2008 年度秋季大会
 - 桜島昭和火口 2008 年噴火で発生し爆発的に伴う空振, 日本地球惑星科学連合 2008 年大会
- 酒井 哲
- ライダーと直接サンプリングによるエアロゾル比較観測実験, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
 - 2008 年夏季人工降雨実験におけるライダー観測(速報), 日本気象学会 2008 年度秋季大会
 - 多波長時代における衛星サウンダーデータの処理長・偏光ライダーによる対流圏エアロゾル観測, 第 25 回レーザーセンシングシンポジウム
 - Dual-wavelength and polarization-sensitive lidar for Japanese cloud seeding experiment for precipitation augmentation(JCSEPA), 24th International Laser Radar Conference
 - ライダーと直接サンプリングで測定したエアロゾル光学特性と微物理特性の比較, 第 26 回レーザーセンシングシンポジウム
 - ライダーで観測されるエアロゾル光学特性について, 第 13 回気象リモートセンシング利用研究会
 - 2008 年夏季人工降雨実験における 2 波長ライダー観測, 第 34 回リモートセンシングシンポジウム
 - ライダーと直接サンプリングによるエアロゾル観測: ライダーパラメータとエアロゾル微物理特性の比較, 第 34 回リモートセンシングシンポジウム
 - 偏光・2 波長ライダーによるエアロゾル・雲微物理構造の観測, 科振費「人工降雨・降雪」研究発表会
 - ライダーと直接サンプリングによるエアロゾル質量濃度/後方散乱係数比の観測, 2009 年第 1 回ダスト研究会
 - 2008 年度人工降雨実験におけるライダー観測, 第 13 回大気ライダー観測研究会
- 坂見智法
- 気象研究所地球システムモデルにおけるエアロゾル-雲相互作用の開発, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
- 佐々木秀孝
笹野大輔
- 地域気候モデル検証用降水データについて, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - 高精度酸素センサー RINKO による観測, 平成 20 年度三官庁海洋業務連絡会海洋測器専門委員会
- 澤 庸介
- 定期旅客便 CO₂ 観測により推察された対流圏から下部成層圏への輸送経路, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - Seasonal variations of CO₂ mixing ratios in the tropopause region based on frequent observations by commercial airliners, 10th Scientific Conference of the International Global Atmospheric Chemistry Project
- 柴田 彰
- Intercomparison of SST retrieved from AMSR-E and WindSat, International

- Geoscience and Remote Sensing Symposium
- 小司禎教
- ・ 地上 GPS : 準リアルタイム解析可降水量の連続同化実験, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ 2008 年 7 月 28 日の GPS データ同化実験 (序報), 日本気象学会 2008 年度秋季大会
 - ・ Data Assimilation Experiments of GPS Radio Occultation Data into Numerical Weather Prediction Models in Japan, FORMOSAT3/COSMIC Workshop
 - ・ Data Assimilation of Precipitable Water Vapor Derived from GPS network in Southeast Asia, The 2nd International Workshop on Prevention and Mitigation of Meteorological Disasters in Southeast Asia
- 新藤永樹
- ・ 全球モデルと領域非静力学モデルを用いた台風発生・発達実験, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ 全球モデルと領域非静力学モデルを用いた台風発生・発達実験 (II), 日本気象学会 2008 年度秋季大会
- 杉 正人
- ・ A possible mechanism of the changes in tropical cyclone frequency and intensity due to global warming as indicated by GCMs, 1st International Summit on Hurricanes and Climate Change
 - ・ 高解像度再解析データ JRA-25 を用いた台風の発生過程の解析, 日本気象学会 2008 年度春季大会
- 鈴木 修
- ・ メソサイクロン検出アルゴリズムの改良—レーダーデータ中の渦パターンの追跡・同定機能の導入—, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ 2008 年 3 月 25 日に相模湾で発生した海上竜巻・スーパーセルライクストームの解析-, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
- 清野直子
- ・ 関東における強雨事例のシミュレーション—都市キャノピースキーム導入のインパクト—, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
 - ・ Regional simulation of dust storm in the Taklamakan Desert, 3rd International Workshop on Mineral Dust
- 瀬古 弘
- ・ 竜巻の発生パラメータのアンサンブル予報実験, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ NHM-LETKF を用いた日本域アンサンブル予報実験, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ LETKF を用いた B08RDP 実験と日本域の豪雨再現実験, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
 - ・ 非勢力学モデルで再現したムンバイ豪雨, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
 - ・ NHM を用いて再現したムンバイ豪雨, 科学技術振興調整費研究「科学技術協力の戦略的推進」 東南アジア地域の気象災害軽減国際共同研究 第 2 回国内ワークショップ
 - ・ 線状降水帯の構造と維持機構, 2008 年度日本気象学会関西支部第 2 回例会 (四国地区)
 - ・ 非静力学モデルで再現したムンバイ豪雨, 第 10 回非静力学モデルに関するワークショップ
 - ・ LETKF を用いた日本域の豪雨再現実験, 第 10 回非静力学モデルに関するワークショップ
 - ・ 局所アンサンブル変換カルマンフィルターやメソ解析をもちいた日本域豪雨実験, 第 6 回天気予報研究会
 - ・ Development of a mesoscale ensemble prediction system for WWRP Beijing 2008 research and development project, The 2nd THORPEX-ASIA Science Workshop
 - ・ Structure of the Regional Heavy Rainfall System that Occurred in Mumbai, India, on 26 July 2005. 2nd International Workshop on Prevention and Mitigation of Meteorological Disasters in Southeast Asia
 - ・ Mesoscale Ensemble Experiments on Potential Parameters for Tornado Formation, 2nd International Workshop on Prevention and Mitigation of Meteorological Disasters in Southeast Asia
 - ・ Mesoscale Ensemble Experiments on Heavy Rainfalls in Japan Area using LETKF, 2nd International Workshop on Prevention and Mitigation of Meteorological Disasters

- in Southeast Asia
- ・ 局所アンサンブル変換カルマンフィルターやメソ4次元変分法を用いた日本域豪雨実験, 第3回沼口敦さん記念シンポジウム
- 高木朗充
- ・ GPS 時間変化から推定する圧力源パラメータ伊豆大島への適用, 日本地球惑星科学連合 2008 年大会
- 高山博之
- ・ Estimation of a-b Value by Comparing Simulated Crustal Movement with GPS Observation, The 7th General Assembly of Asian Seismological Commission and Seismological Society of Japan, 2008 Fall meeting
 - ・ シミュレーションと GPS 観測による南海トラフ沿いの地域の地殻変動の比較, 日本地球惑星科学連合 2008 年大会
- 田尻拓也
- ・ エーロゾル・雲粒子センサーの非球形粒子検出特性について(その2) -MRI 雲生成チャンバー雲物理実験より-, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ 四国・高知における雲のモニタリング観測(2008年)夏季人工降雨実験観測中の大気環境場について, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
 - ・ MRI 雲生成チェンバーによる雲物理実験 混合雲における氷晶発生過程について(その2), 日本気象学会 2008 年度秋季大会
- 田中泰宙
- ・ 火山起源硫酸塩エーロゾルのシミュレーション:20 世紀の火山起源エーロゾルによる放射収支への影響, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
- 田中 実
- ・ 20 世紀における日本とアジア地域の夏の気温とアジアモンスーン・太平洋高気圧・PDO の関係, 日本気象学会 2008 年度春季大会
- 千葉 長
- ・ 気圧の季節変化について, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ 山岳によって誘起された定常内部重力波(JRA-25 再解析データ 26 年平均場), 日本気象学会 2008 年度秋季大会
- 忠鉢 繁
- ・ Total ozone amounts over the Antarctic in the polar night period, Quadrennial Ozone Symposium 2008
- 辻野博之
- ・ 北太平洋高解像度モデルにおける渦フラックスの評価, 2008 年度日本海洋学会秋季大会
- 出牛 真
- ・ 気象研究所全球化学気候モデルを用いた 2007 年 5 月 8 日、9 日の広域的な光化学オキシダント汚染の再現実験, 日本気象学会 2008 年度春季大会
- 時枝隆之
- ・ 北太平洋移行領域の直接通気層の経年変動性, 2008 年度日本地球化学会第 55 回年会
- 直江寛明
- ・ 気液平衡を過程した液相化学反応モデルの開発, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ 遠洋大気中における海塩粒子と低濃度 SO₂ について, 第 14 回大気化学討論会
 - ・ 北半球冬季に QBO が中高緯度へ与える力学的な影響, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
 - ・ Dynamical Impacts of Stratospheric QBO on the Extratropical Atmosphere, 2008 AGU Fall Meeting
- 永井智広
- ・ 1.6 μ m 帯二酸化炭素鉛直分布観測 DIAL 用高精度受信部の開発, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
 - ・ ライダーによる成層圏エーロゾルの長期モニタリング, 第 25 回レーザーセンシングシンポジウム
 - ・ CO₂ 鉛直分布観測用 DIAL のための 1.6 μ m 用受信系の開発, 第 25 回レーザーセンシングシンポジウム
 - ・ ライダーによる CO₂ 鉛直分布の測定, 第 12 回気象リモートセンシング学会
 - ・ CO₂ 鉛直分布観測用 DIAL のための 1.6 μ m 用受信系(II), 第 26 回レーザーセンシングシンポジウム
 - ・ 人工降雨実験のための 2 波長ライダーの開発—光/電波、電動型/受信型、各種測器を用いたシナジー観測のなかで, 第 26 回レーザーセンシングシンポジウム
 - ・ ラマンライダーを用いた地球温暖化気体の観測可能性の検討, 第 16 回リモートセンシングフォーラム
 - ・ 1.6 μ m CO₂ DIAL の開発と検証計画, 第 13 回大気ライダー観測研究会
- 仲江川敏之
- ・ 早明浦ダム流域における渇水対策のための季節予報の利用可能性, 日本気象学会 2008 年

度春季大会

- JRA-25 で解析された陸面水文過程の再現性, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - 力学的季節予測決定論的情報の経済価値の評価-利根川上流域の洪水予測を例として-, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
- 中里真久
- Xバンド及びKaバンドレーダーを用いたシーディング有効雲の観測, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - 竜巻予測パラメータの統計的検証, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - 竜巻を伴う鉛直渦の引き伸ばしメカニズム, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
 - Xバンド及びKaバンドレーダーを用いたシーディング有効雲の観測 -高知県鏡ダム観測サイトにおける夏季集中観測速報-, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
 - 成層圏オゾンライダーで観測されたオゾン鉛直分布の季節変化, 第 25 回レーザセンシングシンポジウム
 - ライダーで観測された対流圏オゾンの季節変化の特徴, 第 13 回大気化学討論会
 - Seasonal variation of the tropospheric ozone vertical distribution over Tsukuba observed by a DIAL, 24th International Laser Radar Conference
 - 誘導ラマン散乱を利用した大気微量成分ライダー計測に関するフィージビリティスタディ, 第 34 回リモートセンシングシンポジウム
- 中澤哲夫
- TRMM 降水量変動 高度変更の影響か年々変動か?, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - 気象庁週間アンサンブル予報データの Nargis 予報結果について, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
- 中野英之
- 海洋大循環モデルと粒子追跡法を用いた太平洋 ^{137}Cs の解析, 2008 年度日本海洋学会秋季大会
 - Mechanism of the Kuroshio Current System, SCOR's 50th Anniversary Symposium
 - Alternating zonal jets in a series of high-resolution OGCMs, 2008 AGU Fall meeting
 - Problem of Western Boundary Current Separation, 2008 AGU Fall meeting
- 中村誠臣
- 解像度を変えた NHM による夏季関東域での再現実験 その 2, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - 関東域での夏季不安定降水の NHM による再現性の評価, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
 - GCSS-ARM による NHM の物理過程パラメタリゼーションの特性評価, 第 10 回非静力学モデルに関するワークショップ
- 萩野谷成徳
- 西チベット改則における長期熱収支観測-地表面での地中熱流量推定-, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - 中国域の蒸発量マップ作成, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
 - A climatological estimate of heat and water fluxes over the Tibetan Plateau, International Conference on Land Surface Radiation and Energy Budget
- 橋本明弘
- 雲シーディングの効果と広域影響評価-3次元雲解像モデルを用いた人工降雪実験-, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - 融階層雲に関する基礎的数値実験, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ヨウ化銀を用いた地上シーディングに関する数値実験, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
 - 黄砂エアロゾルと上層雲の関係に関する微物理的粒子追跡モデルを用いた解析, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
 - Cloud seeding experiment with three-dimensional cloud resolving model for winter orographic cloud in Japan, The 15th International Conference on Clouds and Precipitation
 - 雲解像モデルによる夏季固体降水の表現, 第 10 回非静力学モデルに関するワークショップ
- 林 修吾
- 東南アジア域および日本域における NHM と WRF による予報結果のモデル間相互比較, 日本気象学会 2008 年度春季大会

- NWP Comparison Between NHM and WRF in Southeast Asia, AOGS2008
- Introduction of NHM: JMA operational and research meso-scale model, CSIR/CMMACS Seminar
- Introduction of new interface and visualization tool of NHM, The 2nd International Workshop on Prevention and Mitigation of Meteorological Disasters in Southeast Asia
- Statistical Verfications of Short Term NWP by NHM and WRF-ARW around Japan and Southeast Asia, The 2nd International Workshop on Prevention and Mitigation of Meteorological Disasters in Southeast Asia
- 熱帯域と日本域における 20km 解像度 NHM と WRF-ARW の統計的予報精度検証, 第 10 回非静力学モデルに関するワークショップ
- 林 豊
 - 日本沿岸で観測された 2006 年千島列島沖地震津波のコーダ部の挙動特性, 日本地球惑星科学連合 2008 年大会
 - Extraction of the 2004 Indian Ocean tsunami signals from satellite altimetry data and tsunami detectability of the altimetry mission, The Asia Oceania Geosciences Society 5th Annual Meeting
 - Characteristics of tsunami Coda observed in Japan due to the 2006 Kuril Islands earthquake, The Asia Oceania Geosciences Society 5th Annual Meeting
 - Extraction of the 2004 Indian Ocean tsunami signals from satellite altimetry data and tsunami detectability of the altimetry mission, The 6th International Workshop on Remote Sensing for Disaster Management Applications
- 原 昌弘
 - WWRP 北京オリンピック 2008 年予報実証/研究開発プロジェクト(全球ターゲット SV による初期値・境界値摂動の作成), 日本気象学会 2008 年度秋季大会
 - WWRP 北京オリンピック 2008 年予報実証/研究開発プロジェクト(2008 年本実験の検証、他センターとの比較), 日本気象学会 2008 年度秋季大会
- 平原幹俊
 - 非等方的調和型粘性・拡散スキームと渦許容モデルにおける黒潮流路の再現性, 2008 年度日本海洋学会秋季大会
 - 格子内速度勾配を用いた移流フラックス補正, 九州大学応用力学研究所共同研究「海洋大循環の力学、とくに中深層循環におよぼす海岸、海底地形の影響に関する研究」研究集会
- 廣瀬勝己
 - つくばと棒名山における降下物中のプルトニウムとトリウム同位体について, 2008 年度日本地球化学会第 55 回年会
 - つくばにおける降下物中のプルトニウムとトリウム同位体の長期変動, 2008 年度日本放射化学会年会・第 52 回放射化学討論会
 - Anthropogenic radionuclides in the central South Pacific: result of the SHOTS project, South Pacific Environmental Radioactively Association Conference
 - Deposition behaviors of plutonium and thorium isotopes observed in Japan: comparison between MRI and Mt. Haruna, Seventh International Conference on Nuclear and Radiochemistry
- 弘瀬冬樹
 - Simulation of the Recurrence of Long-term Slow Slip Events in the Tokai Region with Locally Elevated Pore Pressure, The 7th General Assembly of Asian Seismological Commission and Seismological Society of Japan, 2008 Fall meeting
 - Deepening of low-frequency earthquakes on the Philippine Sea slab at the both ends of belt-like distribution in SW Japan, The 7th General Assembly of Asian Seismological Commission and Seismological Society of Japan, 2008 Fall meeting
 - 東海地方の長期的スロースリップイベントの再現-その 3-, 日本地球惑星科学連合 2008 年大会
 - 東海地域の深部低周波地震の深さ分布と東海地震震源域, 日本地球惑星科学連合 2008 年大会
- 福井敬一
 - 地殻変動源推定への火口地形の影響—霧島山新燃岳山頂部における GPS 観測を事例に一, 日本火山学会 2008 年度秋季大会

- Volcano deformation detected by GPS observation on the crater rim of Shinmoe-dake, Kirishima volcano, Japan and estimation of pressure source by FEM, International Association of Volcanology and Chemistry of the Earth's Interior 2008, General assembly
- 霧島山新燃岳山頂部における GPS 観測で捉えた地殻変動と有限要素法を用いた変動源推定—変動源推定への火口地形の影響—, 日本地球惑星科学連合 2008 年大会
- 藤井陽介
 - MOVE システムの最近の開発と準結合同化による大気の解析, 2008 海洋データ同化セミナー
 - 海洋・気象のデータ同化で用いられる最小値探索アルゴリズム (降下法) について, 第 2 回気象研究所・統計数理研究所共同ワークショップ
 - 気象庁エルニーニョ予測システムによる観測システム評価 (OSE), 2008 年度日本海洋学会秋季大会
 - OSE-OEES activities using the ocean data assimilation and prediction system MOVE/MRI. COM, GODAE Final Symposium
 - Singular vector analysis of the Kuroshio large meander, Asia Oceania Geosciences Society 2008
 - Coupled Ocean and Atmosphere Analysis by Assimilating Ocean Observation Data to a Coupled Model, Asia Oceania Geosciences Society 2008
 - 背景誤差分散共分散行列の逆行列を必要としない前処理付き降下法 (POpULar) の変分解析への適用, 日本地球惑星科学連合 2008 年大会
- 藤部文昭
 - 日本における極端豪雨の再現期間の評価, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - アメダス地点における気温の経年変化率と風速の経年変化率の関係, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
 - 東京都心における暖候期午後の短時間降水の増加傾向—118 年間の毎時資料による解析—, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
 - 強風の極値統計における特異事例と地形要因との関連, 第 20 回風工学シンポジウム
 - Long-term change and spatial anomaly of warm season afternoon precipitation in Tokyo, AMS 89th Annual Meeting
 - 最近の我が国における大雨の変化特性, TX テクノロジー・ショーケース in つくば 2009 ミニシンポジウム II 「温暖化と防災」
- 別所康太郎
 - 8年間の散乱計観測による台風域内の海上風分布の統計解析, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - Statistical analysis of surface wind distribution of typhoons Western North Pacific observed by scatterometer for 9years, 28th Conference on Hurricanes Tropical Meteorology of the American Meteorological Society
- 星野俊介
 - 1987 年以降の気象庁と JTWC のドボラック法による台風強度推定の比較, 日本気象学会 2008 年度春季大会
- 干場充之
 - Tsunami Warning, Earthquake Information and Earthquake Early Warning in Japan -Development of recent 15years-, World Observatories Forum
 - 地震波散乱理論を背景とした統計的グリーン関数のエンベロープ表現とその地域性, 日本地球惑星科学連合 2008 年大会
 - How precise can we anticipate seismic intensity? -A study of fluctuation of anticipated seismic intensity by the method of current earthquake early warning-, The 7th General Assembly of Asian Seismological Commission and Seismological Society of Japan, 2008 Fall meeting
 - どこまで地震は正確に予測できるか? 現在の研究地震速報の方法における予測震度のばらつきに関する一考察, 日本地震工学会 2008 年度大会
- 前田憲二
 - Simulated Seismicity Rate Variation Related to the Long-term Tokai Slow Slip, The 7th General Assembly of Asian Seismological Commission and Seismological Society of

Japan, 2008 Fall meeting

- 益子 渉
 - ・ 地震サイクルシミュレーションによる東海地震震源域および周辺における地震活動度変化の評価, 日本地球惑星科学連合 2008 年大会
 - ・ 2006 年台風第 13 号に伴う竜巻の数値シミュレーション—ミニスーパーセルに伴う竜巻の発生機構—, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ Numerical simulations of a tornadogenesis in a mini-supercell associated with typhoon Shanshan on 17 September 2006, 24th Conference on Severe Local storms
- 増田一彦
 - ・ 2006 年台風第 13 号に伴う延岡竜巻の数値シミュレーション, 第 31 回メソ気象研究会
 - ・ 能動・受動センサの複合利用による降水域での氷晶雲の特徴抽出, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ Ice cloud properties over precipitation area derived from a combined use of active and passive satellite sensors, International Radiation Symposium 2008
- 松枝秀和
 - ・ 定期航空機によるフラスコサンプリングで観測された一酸化炭素濃度の変動, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ 接地境界層内の大気ラドン観測による生態系呼吸量の評価, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
 - ・ 定期航空機を利用した二酸化炭素濃度の観測とその意義, 2008 年度日本地球化学会第 55 回年会
 - ・ 接地境界層内の大気ラドン観測による生態系呼吸量の評価, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
 - ・ 期航空機観測による上空の温室効果気体の濃度変動, 第 14 回大気化学討論会
 - ・ JAL 観測の概要, GOSAT データ校正・検証・利用に関するワークショップ
 - ・ 地球観測による二酸化炭素増加の実態と今後の動向, 第 22 回環境工学連合講演会
- 松本 聡
 - ・ 同化データからみた海洋の長期変動解析, データ同化夏の学校
 - ・ Ocean Climate and Water Mass Variabilities in the Ocean Reanalyses, Asia Oceania Geosciences Society 5th annual Meeting
- 真野裕三
馬淵和雄
 - ・ ライダーによる非球形エアロゾル粒径分布の推定, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ アジア域熱帯林減少の地域的な水・炭素収支への影響に関する新たな数値実験について, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ アジア域熱帯林減少の地域的なエネルギー・炭素収支への影響 (11), 日本気象学会 2008 年度秋季大会
 - ・ 陸域生態系モデル (BAIM2)を導入した気候モデルにおける衛星データ利用の可能性, JAXA/EORC ASL セミナー
- 緑川 貴
 - ・ 炭酸系データに基づいた海洋表屈の酸性化の推定, 2008 年度日本海洋学会秋季大会
 - ・ 北太平洋西部における海洋表層炭酸系の変化傾向, 2008 年度日本地球化学会第 55 回年会
- 村上正隆
 - ・ 物理的予測因子を用いたシーディング効果判定法の試み—2D シーディング数値実験の結果を用いて—, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ 四国における人工降雨実験観測の概要, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
 - ・ 山岳性降雪雲のシーディング実験の X バンドレーダによる検証, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
 - ・ 渇水対策のための人工降雨・降雪に関する総合的研究, 奥利根流域降雪調査検討会
 - ・ 国内外における人工降雨・降雪の取り組み, 人工降雨勉強会
 - ・ 意図的・非意図的気象改変, 日本気象学会夏期特別セミナー
 - ・ 人工降雪研究の現状, メソ気象研究会
 - ・ Japanese Cloud Seeding Experiments for Precipitation Augmentation(JCSEPA), The 17th Joint Conference on Planned and Inadvertent Weather Modification/weather Modification Association Annual Meeting
 - ・ 人工降雨研究の最前線, 公開シンポジウム「変わりゆく気候と水資源」—沖縄の渇水と人工降雨について考える

- ・ 大気・雲環境とシーディング効果に関する航空機観測, 科振費「人工降雨・降雪」研究発表会
- 村崎万代
 - ・ 本プロジェクト以前の人工降雨・降雪研究, 科振費「人工降雨・降雪」研究発表会
 - ・ JRA-25 の 20km ダウンスケーリングデータによる冬期の日降水量の年々変動, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ JRA-25 の 20km ダウンスケーリングデータによる夏季降水量の変化, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
- 村田昭彦
 - ・ 積雲対流パラメタリゼーションにおける雲量の影響 (第二報), 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ 発生期の台風の数值シミュレーション — 全球モデルの非静力学モデルによる再現性の違い —, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
 - ・ Error induced from cloud amount in cumulus parameterizations, 28th Conference on Hurricanes and Tropical Meteorology
- 毛利英明
 - ・ 乱流の大スケール変動における対数正規性, 日本物理学会 2008 年秋季大会
 - ・ 格子乱流の生涯と統計法則, 日本物理学会 2008 年秋季大会
 - ・ 乱流速度場の大スケール揺らぎにおける対数正規性, 京大 数理研 共同研究集会「乱流の多重性・階層性とその数理的構造」
 - ・ 乱流の大スケール変動における対数正規性, 九州大学応用力学研究所平成 20 年度共同利用研究集会「乱流現象及び多自由度系の動力学、構造と統計法則」
- 本井達夫
 - ・ 南極ウェッデルポリニアに伴う深い鉛直対流混合の海洋地球化学的証拠—海洋深層二酸化炭素の大気への冬季大量放出と夏季光合成炭素消費—, 2008 年度日本海洋学会秋季大会
 - ・ 1974 年ウェッデルポリニアにおける深い対流の地球化学的証拠と海面二酸化炭素分圧の見積もり, 平成 20 年度 極域気水圏・生物圏合同シンポジウム
 - ・ Spreading of injected ^{137}Cs fallout from the subarctic Atlantic to the Antarctic deep ocean, SCAR/IASC IPY Open Science Conference
 - ・ Sea-ice flow from the Okhotsk Sea to the Pacific Ocean through the Nemuro Strait in 2008, PICES Workshop on the Okhotsk Sea and Adjacent Waters
- 安田珠幾
 - ・ WCRP CMIP3 マルチモデルデータにおける熱帯太平洋表層貯熱量変動と ENSO の関係, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ 20 世紀後半における全球海面水位トレンドの熱膨張成分, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ WCRP CMIP3 マルチモデルデータにおける 21 世紀後半の熱帯太平洋表層貯熱量変動, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
 - ・ CMIP3 multi-model comparison on the interannual variability of the upper ocean heat content in the tropical Pacific, 2008 AGU Fall Meeting
 - ・ Linear Trend of Global Mean Sea Level due to Thermal Expansion during 1960-2001: OGACM Experiments, 2008 Western Pacific Geophysical Meeting
 - ・ Basin-Scale Interdecadal Variability in the North Pacific and Its Future Change, International Workshop on the North Pacific Ocean Observation Strategy for Carbon Cycle and Climate Change
 - ・ First Baroclinic Rossby Radius in CMIP3 models, International Workshop on Global Change Projection: Modeling, Intercomparison, and Impact Assessment
- 柳野 健
 - ・ 渡良瀬川の流出解析におけるダム調節効果について, 日本気象学会 2008 年度春季大会
- 山内 洋
 - ・ 2008 年 1 月 1 日羽田空港周辺で発生したドライ・ダウンバースト, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ X バンドレーダーでとらえた人工降雪シーディングの効果, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ 四国における人工降雨実験と同期した地上・リモートセンシング観測(速報), 日本気象学会 2008 年度秋季大会

- 山崎明宏
- ・ 福岡でのエアロゾル光学特性 2008 年春季集中観測期間中の炭素成分分析結果, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
- 山崎 明
- ・ Aftershock observation of the 2004 off the Kii Peninsula earthquake using ocean bottom seismometers, The 7th General Assembly of Asian Seismological Commission and Seismological Society of Japan, 2008 Fall meeting
 - ・ Seismic activity around the Nankai trough axis south off the Kii Peninsula obtained by ocean bottom seismometers, The 7th General Assembly of Asian Seismological Commission and Seismological Society of Japan, 2008 Fall meeting
 - ・ 絶対観測室内の磁気異常とその時間変化について, 日本地球惑星科学連合 2008 年大会
 - ・ 海底地震計の海底電磁気観測への活用について, 平成 20 年度 Conductivity Anomaly 研究会 (SGEPSS 分科会) 「比抵抗構造推定のための陸域・海域観測に関する研究集会」
 - ・ Detailed seismicity around Nankai Trough determined with ocean-bottom seismographs, The Japan-Indonesia bi-lateral joint workshop on Subduction processes and related topics along the Sumatra-Java arc
- 山里 平
- ・ Characteristics of Low Frequency Earthquakes beneath the Summit Caldera of Miyakejima Volcano, Japan, The 7th General Assembly of Asian Seismological Commission and Seismological Society of Japan, 2008 Fall meeting
 - ・ 空気振動及び地震動から推定する噴火の強度, 日本地球惑星科学連合 2008 年大会
- 山中吾郎
- ・ 最近のインド洋海面水温トレンドに見られる観測とモデルの不一致, 2008 年度日本海洋学会秋季大会
- 行本誠史
- ・ CMIP3 モデルにおける北半球環状モード (NAM) の再現性, 日本気象学会 2008 年度春季大会
 - ・ 気候システムのモデル化から地球システムのモデル化へ—地球温暖化予測モデルの現状と今後の展望—, 2008 年第 42 回夏季大学
- 吉川澄夫
- ・ The physical background and reproducibility of the seismic quiescence, The 7th General Assembly of Asian Seismological Commission and Seismological Society of Japan, 2008 Fall meeting
 - ・ 地震発生前の静穏化をどのように解釈するか, 日本地球惑星科学連合 2008 年大会
- 吉田康宏
- ・ 静岡県森町から送信されているアクロス信号の解析 —伝達関数の特徴—, 日本地球惑星科学連合 2008 年大会
 - ・ 天竜船明トンネルに設置した地震アレイによる森町アクロス送信信号の解析, 日本地球惑星科学連合 2008 年大会
 - ・ The temporal change in travel time detected by seismic ACROSS transmitter at Morimachi, The 7th General Assembly of Asian Seismological Commission and Seismological Society of Japan, 2008 Fall meeting
 - ・ Characteristics and Temporal Change of Green Function Acquired by Seismic ACROSS Signal from the Morimachi Transmitting Station, 2008 AGU Fall meeting
- 吉村 純
- ・ 台風ともなう降水量に関する地球温暖化の影響—20km 格子全球大気モデルを用いた実験結果—, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
 - ・ 日本における地球温暖化懐疑論の現状, 日本地球惑星科学連合 2008 年大会
- 和田章義
- ・ 海洋貯熱量変動に見られる台風活動モードと台風経路の関係, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
 - ・ 海面水温日変化スキームの開発と大気海洋結合モデルへの適用, 日本気象学会 2008 年度秋季大会
 - ・ 数値モデルを用いた台風通過時の海洋応答に関する研究, W-PASS 台風ワークショップ